

中高生の居場所づくり

取組の背景・目的

・中高生の居場所づくりの一環として、様々な選択肢を設け、これから大人になっていく上で、主体的にふれあい館の利用をしてもらうべく、取り組みを行っている。

①中高生の意見を取り入れた行事

利用目的が同じ中高生同士のコミュニティの形成に寄与する。

②レンタルスペース事業

形成されているコミュニティの関係性をより深いものに発展させる役割。

③学習支援事業

受験生支援の一環として実施し、今後の成人利用にもつなげる取り組み。

取組の概要

①中高生の意見を取り入れた行事（バスケット大会）

- ・実施日：令和4年8月31日（水）17:30～19:00
- ・実施場所：東尾久本町通りふれあい館 3階多目的室
- ・職員体制：3名（常勤）
- ・定員：10名（事前申込先着順）
- ・実施内容：中高生を3チームにわけ、職員チームも混ざり、9点先取もしくは、3分間の得点差で勝敗を決める。

②レンタルスペース事業

- ・実施日：不定期（中高生の希望に合わせて）
- ・実施場所：東尾久本町通りふれあい館 各空いている部屋で実施。
- ・職員体制：定期的に巡回（その日の出勤体制による為、常勤・非常勤問わず）
- ・定員：各部屋の定員による
- ・実施内容：事前申し込み制による他の事業や、大人の貸室利用がない時間帯のお部屋を中高生に貸し出す。例）試験前の勉強会やダーツ等

③学習支援事業

- ・実施日：毎日（年末年始除く開館日）9:30～21:30まで
- ・実施場所：東尾久本町通りふれあい館 1階サロンスペース
- ・職員体制：受付職員と兼務（その日の出勤体制による為、常勤・非常勤問わず）
- ・実施内容：中学3年生・高校3年生を対象に保護者の同意書を得た上で、本来の退館時間を越えて、利用することができる。

工夫点・留意点

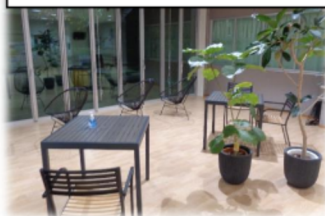
①行う種目や内容については、中高生との日頃の関りや会話の中で出てきた事を採用している。

今回はバスケットボールを行い、勝ったチームが残り、勝ち続けると疲労が蓄積され、力が均衡するように行った。

②大人同様の扱いとして、使用したお部屋の原状復帰や責任を持つこと、書面の手続きをルール化し、みんなが気持ちよく使用してもらえるようにしている。

③居心地の良い空間として、あまり物や情報を置かず、勉強に集中しやすい方向に導けるよう、環境を配慮している。

サロンスペース



バスケ大会



レンタルスペース(ダーツ)



取組の効果

①実施してみたことで、今後はこういったルールで行いたい等、大会内容について意見があり、より主体的に館の事業に携わる姿勢が感じられた事。

②勉強会は、友達同士で図書館では会話しながら行えない事も、仲間内で行えたり、ダーツでは、コロナの関係で他の部屋を利用できない時の、密回避や待つ手段のひとつとしても活用してもらっている。

③近隣図書館の閉館以降の時間に利用が出来る等、一人で館を利用したい中高生の居場所とする事ができた。

課題・今後の展開

①令和4年度4月開館という事もあり、実績数が少ない為、今後は様々な種目や活動を行う。また、内容によっては他館との交流も検討していきたい。(e-スポーツ等)

②レンタルスペースという利用方法の認知が少ない為、館内掲示に加え、より発信していく必要がある。

③サロンの座席数に限りがある為、テスト前などの混み合う時期の今後の受け皿として貸室で使用している部屋を利用することも考えていく。